

2026年1月7日

入院診療を受けられた患者さんへ

「75歳以上の高齢者における大腸内視鏡的粘膜下層剥離術 後の予後に関する後ろ向き観察研究」 への協力のお願い

第一内科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象 : 2010年10月1日～2020年9月30日の間に、当科において、大腸内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられた75歳以上の方

研究期間 : 研究機関の長の研究実施許可日～ 2029年3月31日

研究目的・利用方法 :

75歳以上で大腸内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を受けられた患者さんを対象とし、治療後の経過(生存状況など)と、体の筋肉量との関連について調べるもので、この研究では、治療後に撮影したCT画像から体の筋肉量を測定し、筋肉量と治療後の経過がどのように関係しているかを検討します。

研究に用いる情報の種類 :

下記の情報につき、診療録から取得します。これらはいずれも日常診療によって得られた項目です。

患者背景 : 年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴・併存疾患

血液検査 : アルブミン、クレアチニン、CRP、白血球数

腫瘍および治療関連情報 : 病変部位、形態、腫瘍径、病理診断、切除形態、治療時間、合併症、入院期間、追加外科切除の有無

筋肉量 : 治療後に撮影したCT検査から骨格筋量を数値化します。

治療後の経過 : 再発の有無、治療後の生存状況、死因

※治療後5年間の経過が確認できない場合には、患者さん・御家族に電話で問い合わせを行います。

研究に用いる情報の利用を開始する予定日 : 2026年1月9日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 第一内科
電話番号：058-230-6308
氏名：谷口 裕紀

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 光学医療診療部
氏名：井深 貴士

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸1番1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp